

第18回特別企画「映える浮世絵版画展Ⅱ」 —山田春雄氏コレクションから—

当市出身で東京都在住の山田春雄氏のご厚意により開催してきた同氏のコレクション展も今年で18回目となりました。

今回の特別企画展は昨年に引き続き「ポップで映える浮世絵、あらゆる日本の物語がここにある！」をテーマに、歌川豊國や歌川国貞など江戸時代に活躍した浮世絵師による浮世絵版画作品約125点を一堂に展示する貴重な機会ですので、ぜひ多くの皆さんにご観覧いただければと思います。皆さんのご来場をお待ちしています。

会 期…7月8日(金)～9月25日(日)
場 所…立佞武多の館2階 美術展示ギャラリー
開館時間…9:00～17:00(入館時間16:30まで)
入 館 料…300円(団体20名以上、270円)
高校生以下無料

問い合わせ先…社会教育課 内線2951

一勇齋国芳(歌川国芳)

「韓信胯落之図」(かんしんまたくぐりのず)

H39.0×W26.5cm(右)

韓信の股くぐりとは、大志を抱く人は、目先の小さな屈辱に耐えて無駄な争いはしないという例えで、右は3枚続きのうちの1枚です。



笹餅作りの名人「桑田ミサオ写真展」開催中！

笹餅作りで有名な金木町在住の桑田ミサオさんの写真展が赤い屋根の喫茶店「駅舎」で始まり、開催に先立ち6月1日にギャラリートークが行われました。

主催する公開講座奥津軽の角田周代表は「桑田さんの元には全国のファンから絶えず電話や手紙が来ている。会いたいという声に答えるために企画した」と話しました。

カメラマンの八木橋廣さんは「笹餅作りの様子を撮影していると、すごく手が動いていて、餅を見なくても同じ大きさにちぎっていた。レンズを向けると脇を向くので、カメラの音を消したり、目立たない黒色の服を着たりと工夫した」と撮影の様子を話しました。

桑田さんは「不安はあったが、終わってみるとよく撮れていて、大変うれしい。休んでいた笹餅作りは95歳と年齢のこともあるので体調をみながら、少しずつ再開していきたい」と笑顔で話しました。

ぜひこの機会にご覧ください。



カメラマンの八木橋さん(左)と桑田さん

桑田ミサオ写真展

日時…6月30日(休)まで 10:00～17:00
(水曜日は休み)

場所…津軽鉄道芦野公園駅 赤い屋根の喫茶店「駅舎」
(金木町芦野84-171)

問い合わせ先

公開講座奥津軽 代表 角田 TEL080-3195-4036